

金光教東京平和宣言 2026

私たちは、神のいとし子同士が憎しみ合い殺し合う、すべての戦争に反対します。

戦争は人の苦しみであり、神の悲しみです。

戦争は私たちの心の中にある差別によって始まり、差別は戦争によってあおられます。

いま世界では、自国中心主義や民族主義が台頭し、同じ社会を生きる人々の間に、また国際社会に、分断と差別をもたらしています。

日本でも、外国人や外国にルーツを持つ人たちへの偏見や差別が顕在化しています。SNSなどで拡散されるいわれなき情報が、人々の不安をあおり、誤解を生み、暴力的な差別を生み出しています。

差別意識とそれによる分断が行き着く究極の姿は、アパルトヘイト（人種隔離）やジェノサイド（集団に対する大量虐殺）、そして戦争です。

私たちはその道に抗うために、心の中の差別の芽を摘み、社会の中の差別に目を向け、すべての人が生きやすい社会をつくる努力をしていかなければなりません。

正確な情報を求め、事実に基づいて物事を見極め、互いを知り交流すれば、差別のもととなる恐れや偏見は解けていきます。

互いの違いを認め、学び合えば、私たちの暮らしと心に平和と豊かさが生まれます。

今、第43回金光教東京平和集会にあたり、神の願いである世界真の平和を求める私たちは、「天地のいのちに生きる人間は、みな神のいとし子」というまなざしを世界に向け、「人が人を助けるのが人間である」との真の生き方を世界に現わしていくことを誓います。

すべてのいのちが尊ばれ、すべてのいのちが立ち行く平和な世界を実現するために。